

グリーンホール田原キッチンカー出店募集 「公共空地等有効活用実証実験」実施報告

1 背景・目的

令和6年度に実施した「グリーンホール田原の未来を考える」まちづくりワークショップにおいて、軽食など販売の要望が上がった。また、市民アンケートからも「カフェ・飲食機能」のニーズが高いことが示された。

グリーンホール田原敷地内で、キッチンカーや自走式の移動販売車の設置及び食品・物品等を販売することにより、たわらコネクタートの周知・利用促進につなげるとともに、庁舎周辺におけるまちの賑わいを創出することを目的に実験的にサービス環境を提供した。

2 概要

実施期間 令和6年9月10日から令和7年3月31日までの水曜日他
実施時間 午前9時から午後5時まで（搬入・搬出時間を含む）
実施場所 グリーンホール田原正面玄関前
出店料 行政財産目的外使用 100円/日
電気代相当額（電源を使用する場合）500円/日



3 出店と売上げの状況（3月末時点）

出店回数	19回	出店曜日	水曜日	その他
出店店舗数	2店舗	出店回数	7回	12回
売上額総計	473,160円	売上額総計	234,090円	239,070円
平均売上	24,903円	平均売上	33,441円	19,923円



※縦軸：売上金額、横軸：出店（A店、B店の縦軸の金額は異なる）

4 周知方法（出店募集・開催日周知）

- ・市ホームページ
- ・市 SNS
- ・グリーンホール田原掲示板
- ・地下エレベーター前看板設置



5 検証

グリーンホール田原利用者の他、近隣住民や従業員及び偶然通りがかった人の利用がみられ、一定の需要があり、賑わい創出につながる事がうかがえた。また、たわらコネクタカート（TCC）の運行日である水曜日の平均売上げが他の曜日より高かったことから、カートの周知・利用促進にもつながったと考えられる。

次に、出店事業者ヒアリングを行ったところ、他の出店会場では1日の固定費用に加え、売上げに応じた変動費用が適用される場合があること及び、グリーンホール田原の使用の固定費が低いことから参加することに対し抵抗感がないことが確認できた。

6 課題

初めは目新しさからか売上げが伸びたが、出店数が2店舗に留まったことや気温が低い時期ということもあり、徐々に売上げが低下した。継続的に利用してもらうには、キッチンカー以外の地元店等の幅広い事業者の参画を求め、出店形態の種類を増やすことや、周知活動及び使用料の考え方を整理する必要があると考える。